

TOMORROW

平成29年7月度会報 骨髄移植体験者の会

H29.9.13発行

発行者：武田 亮

連絡先：0463-32-2320（長屋）

Mail：ashita@zmail.plala.or.jp

H29年7月度ミーティング開催



9月の半ばになり、夏から秋に徐々に変わる時期となり、気温も30℃以下となるも増えてきました。皆様、いかがお過ごしでしょうか？

今年4回目のTOMORROWの会のミーティングが7/15(土)に開催されました。今回は、移植予定の患者さんとご家族4名、体験者5名、コーディネーターの5名 合計11名の参加となりました。今回は、移植前の注意点、多植中の症状とその対処方法や退院後の生活などの話題を中心に参加者全員で話し合いを行いました。



1. 移植前の注意点(虫歯の治療)について

歯周病、虫歯があると、移植中に細菌が増殖してしまうので、これを防止するため、移植前の口腔外科検診で虫歯が見つかったら、抜歯されてしまうので、移植を予定されている方は予め、虫歯の治療を済ませておいた方がよいとのアドバイスがありました。

2. 移植中の症状とその対処方法

移植中、抗がん剤の影響で吐き気や味覚異常等が発生し、何を食べても美味しく感じられない時期があります。また、食べ物の臭いにも敏感になります。このような時は自分が食べられそうな食べ物を何か見つけて、点滴に頼るのではなく、口から摂ることが体の機能回復にも役立つとのアドバイスがありました。また、口内炎は、口から食べ物を摂る際、障害になります。口内炎の対処法には、口に氷をふくむ、又は、顎の下を冷やすという方法もあります。体験者の中には、色々工夫されている方もいるようで、自分の好きなジュース、例えばオレンジジュースを凍らせた氷を口に含んだという方もいらっしゃいました。

3. 退院後の生活について

1) 感染症の予防について

免疫抑制剤を服用している間、免疫力が低下するので、注意が必要です。外出時には、マスクを着用し、帰宅後に手洗い、うがいを励行することが大切であることをご説明しました。また、移植後、最低1年間は、人混みを避け、土いじりなども控えて、肺炎などに罹らないよう、気を付けた方がよいとのアドバイスがありました。幼児からうつされることもあるので、一定期間、注意が必要なこともお伝えしました。お孫さんが近々誕生する予定の方から、特に退院後、お孫さんを抱いても大丈夫かとの質問もありました。新生児と接触しても特に問題ないという事をコーディネーターの方から説明して頂きました。

2) 職場復帰、及び退院後の不安に思う事について

いつ職場に復帰できるかということは、患者さんの関心事の一つです。デスクワーク中心には比較的早く復帰できるとお話ししました。患者さん、それぞれ状況が違うと思いますので、体力の回復を待って、焦らず、無理せず、主治医の先生、復帰先の職場の上司の方とよく相談しながら、復帰時期を決めて頂ければよいと思います。また、退院後の生活で何か不安に思えることがあれば、LTFU (Long Term Follow Up: 長期フォローアップ) 外来を受診され、相談されるとよいとお話ししました。



(平成29年9月度のミーティング)

日時：平成29年9月16日(土) 13:00~15:00

場所： 集団指導室 (1F会計 右横の通路奥の部屋です)

平成29年11月度のミーティング：11月18日(土) 13~15時開催予定

